

STAGE+を楽しむ(79)(HP 収載)

—アリス弦楽四重奏団—

1. 始めに

前報(78)に引き続き、STAGE+のアリス弦楽四重奏団の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、アリス弦楽四重奏団の演奏を選びました。

ライジング・スターズ：アリス弦楽四重奏団の紹介

タンツ・アン・デア・パンケ

収録日：2023年4月28日

輝かしい賞歴を持つアリス弦楽四重奏団。フェリックス&ファニーというメンデルスゾーン姉弟の音楽によるプログラムで、ステージプラスに初登場です。まずは1834年に作曲されたファニー・ヘンゼルの輝かしい四重奏曲変ホ長調で幕を開けます。この作品は、1989年に出版されるまで、おそらく演奏されてきませんでした。今ではロマン主義の重要な作品としてその存在が重要視されています。一方、フェリックス・メンデルスゾーンは、妹の突然の死を受けて1847年に劇的な最後の弦楽四重奏曲を作曲。わずか数か月後に自らも亡くなりました。プログラムの最後には、アリス弦楽四重奏団がメンデルスゾーンの無言歌を弦楽四重奏にアレンジした演奏を披露します。

演奏：

アリス弦楽四重奏団

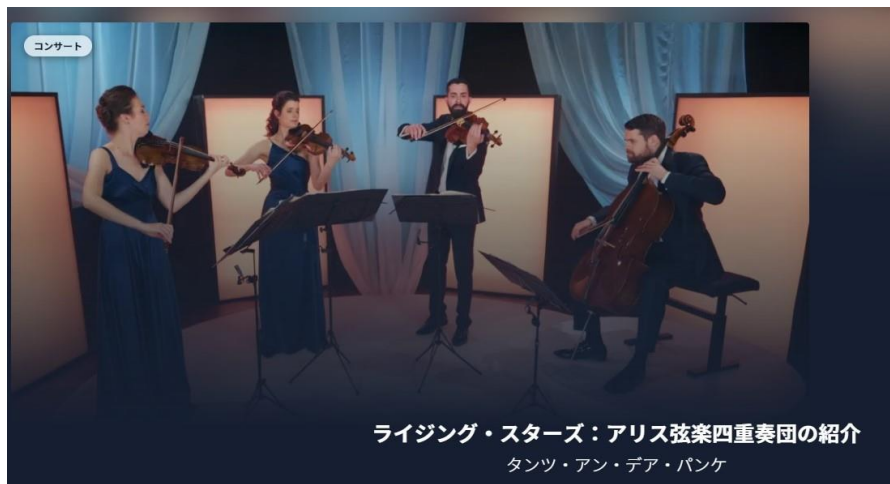
曲目：

ファニー・ヘンゼル 弦楽四重奏曲変ホ長調

フェリックス・メンデルスゾーン 弦楽四重奏曲第6番へ短調 op. 80

フェリックス・メンデルスゾーン

無言歌集 op. 102 より 第3曲：Presto (弦楽四重奏版)



3. 試聴の経過

無観客でのクラブのようなところでの収録です。収録環境の間接音が少なく、直接音がそのまま録音されているようです。

新進の演奏家を紹介するライジング・スターズのシリーズでのアリス弦楽四重奏団の演奏です。

ヘンゼルの弦楽四重奏曲変ホ長調は、演奏される機会も少なく初めて聴くものです。新進の弦楽四重奏団ながら、緊張感をもって演奏されています。

メンデルスゾーンの弦楽四重奏曲第6番へ短調は、メンデルスゾーンの室内楽らしく、抒情的でありながら内省的な緊張感も表現される曲です。

メンデルスゾーンの無言歌集第3曲 Presto は、小粋な小曲の弦楽四重奏への編曲版です。



4. まとめ

以上の STAGE+配信は、追加の LAN iSilencer の効果も加わって、新進の弦楽四重奏団でありながら、アリス弦楽四重奏団による緊張感のある充実した演奏を味わうこ

とができました。

以上